

**2024年1-3月期 GDP1次速報予測**

株式会社三菱総合研究所(代表取締役社長:藪田健二)は、内閣府より5月16日(木)に公表予定の2024年1-3月期のGDP速報(1次QE)について予測を行いました。

2024年1-3月期の実質GDPは、季節調整済前期比▲0.5%(年率▲2.0%)と予測します。

2024年1-3月期の実質GDPは、季節調整済前期比▲0.5%(年率▲2.0%)と、2四半期ぶりのマイナス成長を予測する。

自動車認証不正問題に伴う一部メーカーの生産・出荷停止により、主要需要項目が下押しされたとみる。設備投資は、季節調整済前期比▲2.0%と予測する。自動車関連業種の機械投資が弱含んだほか、事業者への商用車出荷が減少した。民間最終消費は、同▲0.1%と予測する。消費者マインド改善などを背景にマイナス幅は縮小するものの、新車販売台数減少の下押しが大きく、減少傾向が続いたと予想する。一方、公共投資は、予算執行の進捗などから、同+3.0%と3四半期ぶりにプラスに転じると予測する。

輸出は、季節調整済前期比▲4.6%の減少を予測する。前期に大口の知的財産権等使用料受取により伸びたサービス輸出に反動減が生じるほか、自動車関連輸出が落ち込んだとみる。輸入は、同▲2.2%の減少を予測する。外需は季節調整済前期比寄与度▲0.5%ポイントのマイナス寄与を見込む。

図表 2024年1-3月期 GDP速報 予測結果

単位：断りがない限り 季調済前期比(%)	2023年			2024年
	4-6月期 実績	7-9月期 実績	10-12月期 実績	1-3月期 予測
実質GDP	1.0	▲0.8	0.1	▲0.5
季調済前期比年率	(4.2)	(▲3.2)	(0.4)	(▲2.0)
民間最終消費	▲0.7	▲0.3	▲0.3	▲0.1
民間住宅投資	1.8	▲0.6	▲1.0	▲0.5
民間企業設備投資	▲1.4	▲0.1	2.0	▲2.0
民間在庫	寄与度	▲0.1	▲0.6	▲0.1
政府最終消費	▲0.1	0.3	▲0.2	0.3
公的固定資本形成	2.2	▲1.0	▲0.8	3.0
財・サービス 輸出	3.8	0.9	2.6	▲4.6
財・サービス 輸入	▲3.6	1.0	1.7	▲2.2
内需	寄与度	▲0.7	▲0.8	▲0.1
民需	寄与度	▲0.7	▲0.8	0.0
公需	寄与度	0.1	0.0	▲0.1
外需	寄与度	1.7	0.0	0.2
名目GDP	2.6	0.0	0.5	0.4
季調済前期比年率	(10.7)	(▲0.1)	(2.1)	(1.5)
GDP デフレーター	前年同期比	3.7	5.2	3.9
国内需要 デフレーター	前年同期比	2.7	2.5	2.1

注:シャドー部分が今回の予測値。

出所:実績は内閣府「国民経済計算」、予測は三菱総合研究所

## 本件に関するお問い合わせ先

---

株式会社三菱総合研究所  
〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目 10 番 3 号

### 【内容に関するお問い合わせ】

政策・経済センター 堂本健太 北川諒 田中嵩大  
電話:03-6858-2717      メール:pecmacro@ml.mri.co.jp

### 【報道機関からのお問い合わせ】

グループ広報部  
メール:media@mri.co.jp

---